

掃水住民自治協議会

地域計画

(令和3年度改訂)

令和4年3月

平成27年に「地域の将来計画」が策定され7年が経過した。
 地域計画で策定した事業計画は掃水まちづくり協議会や掃水住民自治協議会で取り組んできたが、全ての計画が実行されたわけではない。
 策定後7年が経過し、組織が変わったりしたことも踏まえ計画そのものの見直しを行い各部を中心に5か年計画の策定を行うこととした。

<今までの経緯>

平成24年にまちづくり将来計画作成委員会を立ち上げ、平成25年に地域住民の意識調査を行い、中学生以上の94%から回答を得た。
 意識調査では26項目の事項について重要度と満足度についての感じ方を回答してもらいマトリクスに表した。

重要度		
A	B	満足度
C	D	

縦軸を重要度(上方向が高い)、横軸を満足度(右方向が高い)とした。

Aゾーン 重要度が高く、満足度が低い

- 6.子育て支援の体制
- 7.高齢者や障がい者の福祉体制
- 8.地域で支え合う福祉
- 9.地域医療や救急医療の体制
- 17.道路網の整備
- 18.公共交通機関（鉄道、バスなど）の整備

Bゾーン 重要度が高く、満足度も高い

- 1.学校教育
- 2.家庭や地域と学校の連携
- 5.健康づくりの機会
- 10.生活環境（上下水道、公園・緑地、公害対策など）
- 11.自然環境の保全（河川、里山、など）
- 12.ゴミ処理（分別）やりサイクル運動（資源物収集・再資源化など）

- 19.防災体制（自主防災組織、防災訓練、消防、救急救助など）
- 20.防犯対策（青色パトロール、防犯灯など）
- 21.交通安全対策（信号機、標識、ガードレールなど）

Cゾーン 重要度が低く、満足度も低い

- 3.生涯学習（スポーツ・芸術・文化活動など）の機会
- 4.文化財の保存・活用
- 14.商工業・観光の振興（パンフレット作成・配布、キャンペーンなど）
- 15.農林業の振興（地産地消の推進など）
- 16.雇用や起業支援（情報提供など）
- 25.人権尊重・男女共同参画社会
- 26.他地域や外国人との交流

Dゾーン 重要度が低く、満足度は高い

- 13.住民主体の環境保全活動
- 22.住民参加・協働のまちづくり
- 23.情報公開、広報活動（協議会たより、回覧、掲示板など）
- 24.イベント、地域のまつりによるにぎわいづくり

重要度は高いが、満足度は低い（Aゾーン）の項目は取組むべき最大の課題と考える。
BゾーンやCゾーンの項目も課題として除外するものではない。

また、「どのような地域づくりを進めたいか」については上位5項目を念頭に置き、地域の課題を次の6項目に絞り込んだ。

- 1.自然環境にめぐまれたまちづくり
- 2.医療・保険・福祉施設が充実したまちづくり
- 3.高齢者・障害者等の弱者が住みよいまちづくり
- 4.教育・学習・スポーツ施設が充実したまちづくり
- 5.安全防災機能が充実した、安心・安全なまちづくり
- 6.若い世代が住みよいまちづくり

これらを踏まえ6つの課題に絞り込み、4つの分科会で検討した計画が将来計画であった。

テーマ	テーマの目的・目指す姿
美しい自然と環境に取り組むまち	自然環境保全やゴミ減量等により、美しい環境の中で豊かな気持ちでくらすまちづくり。
みんなが助け合い、健康でいきいきと暮らせるまち	赤ちゃんからお年寄りまで元気に・健康に暮らせるよう住民が支え合い、相互啓発して健康の維持向上を進めるまちづくり。
交流や学びを活発に 伝統文化を伝承するまち	世代や地域を越えた交流を活発にし、地域の歴史や伝統文化を学び合い伝承してゆくまちづくり。 高齢者世代と若い世代の交流による情操教育が盛んなまちづくり。
安全で安心して暮らせるまち	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくり。 自然災害への防災機能が充実した安全・安心なまちづくり。

それぞれのテーマについて分科会で検討し施策を提言することとなり、各分科会を編成し平成 26 年 2 月より更なる調査・検討を行い 8 月に提言が出された。
更に関係団体や住民公聴会での意見を踏まえ将来計画（地域計画）として 49 項目の事業計画が策定された。

平成 27 年度に策定された以上の「地域の将来計画」を見直し、検討を以下の通り実施（新 5 ヶ年）計画にまとめた。

＜新 5 ヶ年計画の検討＞

将来計画は残念ながらアンケート結果（住民の認識・期待）との整合性の検討は十分にされなかった。将来計画に記載されている内容を参考にしながら地域計画の見直しをしていくこととなり、令和 3 年 10 月より検討を始めた。

1 2 月末までに各部で検討を行い、事業計画が提案された。
令和 4 年 1 月にはこの提案に基づき、各部で作成、各部和役員とでヒヤリングを実施し修正等を行った。

地域計画 5ヶ年事業計画（令和4年度～令和8年度）

部会名	部としての将来像 (あるべき姿、課題)	事業名	事業のねらい(期待効果)	実施:○ 検討:△ 課題:記号なし				
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
体育部	運動を通じての住民の交流や健康増進をする。 運動習慣の喚起	三世代友好競技	世代間および地域間の交流を運動を通じて図る	○	△	△	△	△
		みえ松阪マラソン支援	イベントへの支援	○	△	△	△	△
		ふれあいウォーキング	他部会との共催。運動習慣などのきっかけづくり	○	○	○	○	○
		夏まつり	住民の絆の強化、住民力の増強					
		市民体育祭	地域のつながり、結束の促進、小学校児童との交流					
健康いきいき推進部	専門家の知識や技能の提供による、住民の健康づくりを支援する	健康いきいきフェア	自信の健康状態を知り目標を設定。地元で開催で参加容易。	○	△	△	△	△
		おすすめ体操	運動の習慣化	○	△	△	△	△
		いきいきすこやかクラブ	各地域での小集會に出向き健康づくりのヒントを伝える	○	△	△	△	△
	課題:各地区にヘルスリーダーを養成し地区単位で常時健康づくりを進める	健康いきいき茶話	正しい情報と毎日の生活が楽しくなる情報の発信	○	△	△	△	△
		コロナ対応で歩こう会	個人で歩行人を増やす	○	△	△	△	△
福祉部	高齢者の健康、地区全体の結びつきを促進 絆づくり 支えあい	給食サービス	高齢者の交流、健康維持、仲間づくり	○	○	○	○	○
		長寿を祝う会	高齢者の交流、健康維持、仲間づくり(80歳以上)	○				
		研修会	調理ボランティア研修	○				
		ボランティア保険加入	給食サービス関係者対象	○				
		友愛訪問	安否確認、新民生委員の紹介	○	○	○	○	○
		ワンデイサロン	高齢者の横のつながり、居場所づくり、おしゃべりカフェ	○	○	○	○	○
		宅老所助成	60歳以上の集まりの促進	○	○	○	○	○
安全防災部	安全・安心な地域づくりを目指す 有事対応への情報の共有を図る	防災訓練	防災意識の向上、避難時の共用体制の準備	○	○	○	○	○
		AED管理費	救急体制の確保	○	○	○	○	○
		防犯灯設置補助	犯罪抑止効果、歩行者の安全	○	○	○	○	○
		青色パトロール	犯罪抑止効果	○	○	○	○	○
		防災計画策定	防災意識の向上、避難時の共用体制の準備	○	○			
		松阪市消防協田分団	消防団員の確保	○	○	○	○	○
		通学路整備	歩行者の安全確保	○	○	○	○	○
		防犯カメラ設置	犯罪抑止効果、歩行者の安全					
教育文化部	地域の文化の伝承やその発展を図る	郷土の歴史・文化の発信	文化財や歴史の発掘。地域への情報提供。	○	○	○	○	○
		風をあげよう	地域住民と小学生の交流	○	○	○	○	○
		歴史講演会、勉強会	文化財や歴史の発掘。地域への情報提供。					
		史跡めぐり	地区の文化財や歴史に触れる機会づくり					
環境美化部	地域住民の美化意識を向上させる。	花いっぱい運動	美化意識向上 春(小学校のみ) 秋(全体対象)	○	○	○	○	○
		ゴミ分別の啓発	正しい分別をし、ゴミ減量・資源化に寄与する	○				
		ペット糞処理の改善	マナー向上、および住民の不快感の解消	○				
		水辺の憩いの場の造成	水環境の大切さの子供への教育。大人との交流の場作り		○	○	○	○
自治会部	地域課題の解決	団体助成事業	住民自治協議会、老人会、消防分団、青ハト等への助成	○	○	○	○	○
		会則第29条3項に関する事業	配布・周知、委員の推薦、調査・要望、共助関係等	○	○	○	○	○
	自治会等の役員の人選が課題	災害緊急対策用品購入	緊急時への対応準備	○	○	○	○	○
		災害発生時支援	災害復旧支援	○	○	○	○	○
		各部会実施事業に参画	住民自治協議会事業の活性化	○	○	○	○	○
公民館部	地域の生涯学習を担う 講座、同好会を中心とした活動を行う	講座開催事業	教養および趣味講座を通じての学習支援	○	○	○	○	○
		文化祭	同好会活動での成果発表	○	○	○	○	○
		東部中管内スポーツ大会	他地域との住民交流の促進	○	○	○	○	○
		同趣同好会事業	同好会活動での交流の促進、レベルアップをはかる	○	○	○	○	○
事務局(総務)	協議会運営に関する庶務	運営費		○	○	○	○	○
		草刈り十字軍	自主財源	○	○	○	○	○
	部会に属さない事業	老人会スポーツ助成	老人会活動の健康促進助成	○	○	○	○	○
		地域計画改訂	長期にわたる事業の検討					

地域計画を策定する中で次のような意見が出された。

- ・事業が多すぎる
- ・部そのものを減らすべき
- ・各部主体での検討であったので部の削減、改編などが出来なかった
- ・令和4年度から新部での活動を
- ・令和4年度からの新体制作りは時間的に難しい→組織の見直しは来年度中に
- ・事業を主体とした検討を行い事業策定後に部の編成をする
- ・出来るところから縮小すれば
- ・住民が参加しやすいように

などが出されたことを踏まえ令和4年度以降に次のことに取り組むこととした。

- ・事業主体の事業計画
- ・それに基づく部の再編
- ・事業、部ともにスリム化を検討